

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

響・快適な住まいの家

グループの名称

響・快適な住まいを考える会

直近採択グループ番号

04-0156-0708

(グループ代表者)

代表者名

吉原 恵美

代表者印

代表者所属先

株式会社キョーエイ

代表者所在地

福岡県北九州市小倉南区大字朽網3914番90

代表者電話番号

093-474-3388

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社キョーエイ

事務局担当者名

吉原 孝樹

印

事務局郵便番号

800-0231

事務局所在地

福岡県北九州市小倉南区大字朽網3914番90

事務局電話番号

093-474-3388

事務局FAX

093-473-3966

事務局担当者E-mail

taka.yoshihara@kyoei-no1.co.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	3	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸					
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸						
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		5	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸						
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	5	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	施工構成員の全社に最低1戸を配分し、その上で、受注が確定している物件に優先的に配分してゆく。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成28年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金の活用実績		被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当		
				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち木造認定低炭素住宅の実績		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	ゼロエネ住宅					
				H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均	H28年実績	直近3年平均							
40	VI - 1	50322	大岩工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
40	VI - 2	50240	小田建築工房	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
40	VI - 3	50227	有限会社 首藤工務店	1 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	㎡	㎡					
40	VI - 4	50525	有限会社 藤工務店	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
40	VI - 5	50355	有限会社中原建築店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
40	VI - 6	50401	東九ハウジング株式会社	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
40	VI - 7	50126	株式会社橋口工務店	8 戸	8 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
40	VI - 8	50122	宮西建設有限会社	4 戸	4 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○	○		○	○
40	VI - 9	56002	株式会社キョーエイ	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	○				
40	VI - 24		有限会社古谷建築	5 戸	5 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡					
VI -				戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ. I～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					
	Ⅷ -					

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 響・快適な住まいの家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 響・快適な住まいを考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0156-0708	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・夏場は、西日が強く、酷暑の日もある。一方で、冬場は風雪もある事から、省エネ性能重視し、H28年度省エネ基準の断熱等性能等級4以上とする。 ・南海トラフ地震防災対策として、耐震性能を重視し、耐震等級を2相当以上とする。(ゼロ・エネルギー住宅・長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上住宅を含む)(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	ゲリラ豪雨対策としてダクト貫通部分やバルコニー入隅・出隅部分にウェザータイト部材を使用する。主たる居室には春・秋の風向きを考慮した窓を設ける。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域に合わせた住宅作りとして下記のいずれか一つ以上を取り入れる ・「黄砂」対策として屋外で洗濯物を干しにくいエリアの為、室内干し設備を取り入れる ・「PM2.5」など大気汚染対策として、室内環境改善の為、24時間換気扇にフィルターや防塵カット機能付部材を設ける ・西日対策として西側窓に下記のいずれか一つ以上を取り入れる ①できる限り庇を長くする②袖壁による日射遮蔽部材を取り付ける③遮熱Low-eガラスにする	○
④①～③の背景	・夏場の梅雨明け後は、真夏日になる日が多い、西日は強く、酷暑となる日もある。冬場は、響灘からの北西の季節風が吹きつける為、曇天の日が多く日照時間が少ない。強風、風雪・波浪注意報も発令される事も多い。 ・昨今では「黄砂」や「PM2.5」に代表される汚染物質による、人体への悪影響や日常的に洗濯物が、外に干せないなど、日々の生活に制約を受けることもある。 ・春・秋は過ごし易い南風が吹くエリアでもある。 ・北九州市は「環境未来都市」というビジョンの元、環境共生・エコタウン構想など低炭素な街づくりに向けての取り組みを実施している。 ・南海トラフ地震の影響も懸念される。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	響・快適な住まいを考える会は、北部九州から山口に向けて、「響・快適な住まいの家」の住宅普及を目指します。「環境未来都市」北九州のビジョンを住まいづくりを通じて、環境共生・エコタウンの構想実現の達成に取り組んでまいります。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	柱は基本105角を使用。ただし自由設計を優先とする。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容:	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	グループ構成員に対し建材・資材の工場見学を実施する。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 響・快適な住まいの家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 響・快適な住まいを考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0156-0708	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計図書は、主幹履歴情報機関に保存する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員ごとに主幹履歴情報機関に登録を行う。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 主幹履歴情報機関に確認することで可能。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の点検表を活用する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の点検表に基づき、点検時期ごとの補修項目に対し提案を行う。	◎
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ共通の点検表を活用することで確認可能。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント、メーカーショールームなどを利用したお手入れ相談会やDIY体験会、感謝祭を実施	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント、メーカーショールームなどを利用したお手入れ相談会やDIY体験会、感謝祭を実施	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: イベント、メーカーショールームなどを利用した土地・ローン・リフォーム相談会を実施	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 原則として、施工構成員全員で、事務局が参加した維持管理委員会を設置する。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期点検表に基づいた点検時期にインスペクターによるインスペクションを行い、総合的な判断を行う。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 相談窓口が事務局である旨を施工構成員が施主に説明する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な会合による、構成員間の情報交換を積極的に実施する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 「響・快適な住まいを考える会」事務局を、住宅の維持管理・リフォーム相談・困りごと相談の総合窓口として位置づけ消費者からのニーズ・信頼に応えていく。	◎

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催にて対象住宅の技術研修会・個別相談を開催する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員がグループの特徴を活かしながら、共通の納まりなどをルール化する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建材流通構成員が発注の際、設計図書にて確認を行う	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員は受注、受注予測があれば直ちに流通構成員に連絡し、流通構成員は供給の打診を行う。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全ての施工構成員に長期優良住宅を5年以内に1棟以上経験していただく。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ①施工構成員は他の現場見学会に参加する ②木材構成員は木の使用部材ごとの樹種材の勉強会をする ③流通構成員は5年間保証及び断熱施工の研修会に参加または企画する。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 13 今年度の参加目標人数 10	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数 10	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ①グループ事務局にて未受講者の名簿を作成 ②講習会予定日、開催予定地情報を入手 ③グループ事務局より、情報として当該構成員に通知 ※グループ内での受講者が多数の場合、グループ内での開催。会場は事務局提供。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局内のエネルギーサポート部隊がお施主様に直接説明する機会を設ける。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光発電データを抽出しお客様に向けた告知をする。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 施工業者の施工レベル向上のための勉強会を実施する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 響・快適な住まいの家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 響・快適な住まいを考える会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0156-0708	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須) 主要構造材につき、次の証明制度を利用する。 土台:合法木材証明制度(国内) 柱:合法木材証明制度(国内) 梁桁:合法木材証明制度(国内・国外)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材利用部位(必須) <p>※この地域材の流れ(フロー図)は例示であり、例外もある</p>	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の柱・土台をプレカット工場に在庫する。在庫量を毎月施工構成員へ報告する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材の柱・土台をプレカット工場に在庫する。価格情報を毎月施工構成員へ報告する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 施工予定状況を事務局を通じプレカット製材所構成員へ連絡する。プレカット工場・製材所も状況を事務局を通じ施工構成員へ連絡する。	◎
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 48 枚	○
	①-2 和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 300 坪	○
	①-3 襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 16 枚	○
	①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 16 枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: このエリアで生産される壁材の活用を提案	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: このエリアで生産される鉄の手すり・壁の活用を提案	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木屋瀬エリアにおける伝統的デザインの縦格子を活用して提案する。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木屋瀬エリアにおける伝統的デザインの縦格子を活用して提案する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を1部屋以上ご提案する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 北九州で廃材を利用し生産されたエコウッド(人口木)を外構に提案する。	○
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		
	東日本大震災の復興に資する取組	被災地の物産品を現場見学会の記念品・年末年始のご挨拶の品として活用する。 ○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	被災地の物産品を現場見学会の記念品・年末年始のご挨拶の品として活用する。 ○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 響・快適な住まいの家	(地域型住宅供給対象地域) 北部九州
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 響・快適な住まいを考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0156-0708	

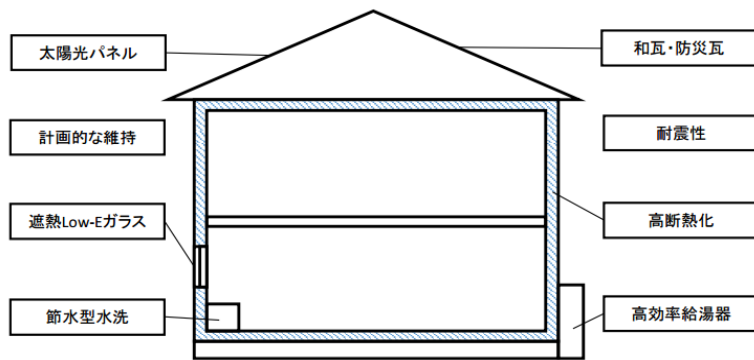
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- 「響・快適な住まいを考える会」が推奨する
高度省エネ住宅「響・快適な住まいの家」
○地域の特性を活かし次世代の環境に適応した住宅
<高度省エネ型住宅の特徴>
○平成28年省エネ基準の断熱性能等級4以上
○1次消費エネルギー消費量等級4以上
○耐震等級2相当以上
<ゼロ・エネルギー住宅の特徴>
○上記の特徴+太陽光発電システム
○BELS認証における5つ星を取得



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。